

9月13日（日）北区コミュニケーション・モア9月例会は、五十嵐郁子氏をお招きして手話学習会を開催いたしました。

新型コロナウイルスの影響のため、実に8か月ぶりの再開となりましたが、当日は会員20名・新会員2名・非会員9名、合わせて31名の方にご来場いただきました。

手話学習に先立って、所代表からコロナ流行による事業計画の変更と助成金の受領の報告およびコロナ感染防止に関する

注意事項の説明がありました。2020年度総会で選出された新役員が紹介され、会計担当の岡田より助成金で購入した品について、一通りの説明を行ないました。

今年度より、手話学習会の講師は手話通訳士の五十嵐郁子氏に代わり、開口一番「皆様に指文字で自己紹介していただきましょう。前の人の名前を指文字で表してから自分の名前を」と中途失聴者・難聴者がまず覚えなければいけない指文字の練習から始まりました。自分の名前は簡単に表せるのに、お隣の人の名前は「…？」でしたが、板書を見ながらの指文字練習によって、かなり「力」がついたのではないかでしょうか？次に時事用語を含んだ短文6題の表現練習をしました。問題文の例を挙げますと「新型コロナウイルスに感染して重症になる人もいれば無症状で済む人もいます」「感染経験のない人を集めて調べ、半数以上に新型コロナに反応する『T細胞』があったという研究結果が出ています」と、いきなり高レベルの手話学習でした。しかし、先生の手話を見ながらまねていく、こうした積み重ねによって手話が身についていくのだと再確認できた一日でした。



コロナ感染防止対策も念入りに！

- ・石鹼で手洗い、マスク着用
- ・検温
- ・「体調確認シート」に記入
- ・再度、手指のアルコール消毒



コミ男とモア子のしゅわ談義



コミ男：モア子ちゃん、久しぶり。8か月ぶりかな？

モア子：お元気でしたか？コロナ自粛期間中は手話を使う機会がほとんどなくて、「手」でおしゃべりすることがとても新鮮に感じられたわ。



コミ男：僕もほとんど手話を忘れていたけれど、コミモアでは日常生活で使える手話を教えてもらえるから、参加しがいがあるね。

モア子：ホントに。来月も楽しみだわ。